2050年 カーボンニュートラルの実現に向けて



大里　克友
（おおさと かつとも）

録画映像はこちら

脱炭素地域づくりについて

二酸化炭素の排出量の推移について伺います。

経済環境部長　本市の二酸化炭素排出量は、環境省の「自治体排出量カルテ」によると、平成25年度の75万5千トンから、令和5年度には60万5千トンとなり、15万トン、約20％削減している。年度ごとの増減はあるが、長期的には減少傾向にある。今後も2050年までの二酸化炭素排出量実質ゼロに向け、取組を進めていく。

公共施設への太陽光発電設備設置について伺います。

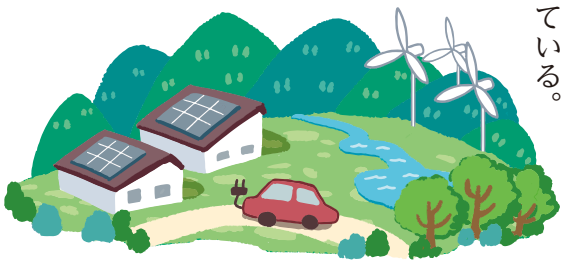
経済環境部長　二酸化炭素排出量の削減や災害時の電源確保など、脱炭素化と防災力の強化の両面において有効と認識している。

一方、導入には施設の電力使用状況をはじめ、建物の耐震性、改修等の予定、費用や維持管理費などを、施設ごとに確認する必要がある。先行自治体の導入事例や事業手法、国の支援制度などについては、今後も情報収集を行いながら、導入について検討していく。

重点対策加速化事業の活用について伺います。

経済環境部長　公共施設への太陽光発電設備や蓄電池設備設置等による脱炭素対策を複数年度にわたって計画的に実施する場合に、費用の一部に対し、支援を受けることができる国の制度である。本市が公共施設に太陽光発電設備等の導入を進める際には、制度を活用することが可能であると認識している。

一方、活用にあたっては、実施体制などを整理し、具体的な事業計画を提出する必要があり、交付金ですべての費用が賄われるものではないことから、本市における具体的な事業内容と実施体制を整理したうえで、慎重に検討する必要があると考えている。



※一般質問の掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。